

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	50%	自校A B層の割合	50%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	45.1%	自校A B層の割合	44.5%

目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 指導力向上をめざし、毎学期校内研修などで授業方法や教材についての情報共有を進める。また、研修会では教科の枠組みを超えた授業改善の取り組みについて意見交換を行う。 教科ごとに授業見学を行い、指導・助言をお互いにし合える環境づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科で基礎学力の確認および定着を目標とした課題を出す。 ミライシードのドリルパークを行わせたり問題集を解く時間を設定する。 定期考査前に質問教室を開いたり自習のための教室を設けて学習に取り組む環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校で取り組んでいる家庭学習ノートの取り組みを継続し、少しずつ内容の充実を呼び掛ける。 各教科において小テストを設定したり課題を出して家庭で机に向かう習慣を定着させる。 定期考査前には学習計画をたてさせ、見通しをもって学習に取り組む環境を整える。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> どの部分につまづきがあるか、指導が伝わっているかなどを個別に確認する。 班活動やグループ活動を通して「教えあい」「学びあい」を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学と英語については放課後補習を紹介し、活用を進める。 授業において理解度や到達度を確認するテストを行ったり生徒に理解できたかを声かけして確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 模範的な家庭学習ノートを提示したり取り組み方に関するアドバイスを行う。 「study week」においては取り組む課題を指定し何を行うかをアドバイスする。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査の結果および、学校評価における「授業の内容はよくわかりますか」の項目で85%以上の肯定的解答 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査の結果および、学校評価における「授業の内容はよくわかりますか」の項目で85%以上の肯定的解答 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査における「家庭での学習時間は1時間以上」の生徒を75%以上にする